

事業目的

集中治療室で原疾患の治療に伴い人工呼吸器を使用するが、約4.5万人は5日以上となる。その中には、原疾患の回復後も人工呼吸器が外せなくなる患者が一定数存在する。さらには、数か月の入院や肺炎の発症、最悪の場合、死に至る者もいる。我々はそういった患者を救い、医療者の負担を減らす、横隔神経刺激デバイスの開発を行っている。

設定したPoCに本事業で取り組むことで、プロジェクトを加速させる。

事業内容

主に次の内容を行う。

- ・ヒトで使用するためのカテーテル電極の仕様を作成する。
- ・ヒトに適切な胸腔内陰圧を発生させる電気刺激アルゴリズムを開発する。
- ・電気刺激信号制御装置の試作機の開発を行う。
- ・ユーザーニーズ（国内外）のバリデーションをおこなう。
- ・薬事申請に必要な非臨床試験の内容を検討し策定する。

事業成果

これまで次の成果をあげた。

- ・カテーテル電極の第一候補の要素技術開発をおこなった。
- ・電気刺激信号制御装置の試作機を開発した。
- ・ユーザーニーズのバリデーションをおこなった。
- ・非臨床試験の内容を検討している。

事業者情報

VentEase株式会社
(大阪大学発スタートアップ)

所在地：
大阪府吹田市

設立年：
2024年8月



概要図等

NEP：躍進コース

